

暑熱の夏 TOKU shin ni

黄毛の施は全額
レナド当りと理解
していふ人をいろくら
いの人氣です。



全国的に猛暑の夏、8月が走り去りました。
気温は三十六度を越える日々、熱中症が連日ニュースになりました。
人々は暑さに負けまいと、うい寝、いへ寝が癪島にはあります。
八月の熱気のはじまりは、剣山に咲くキレナガです。

恩
也

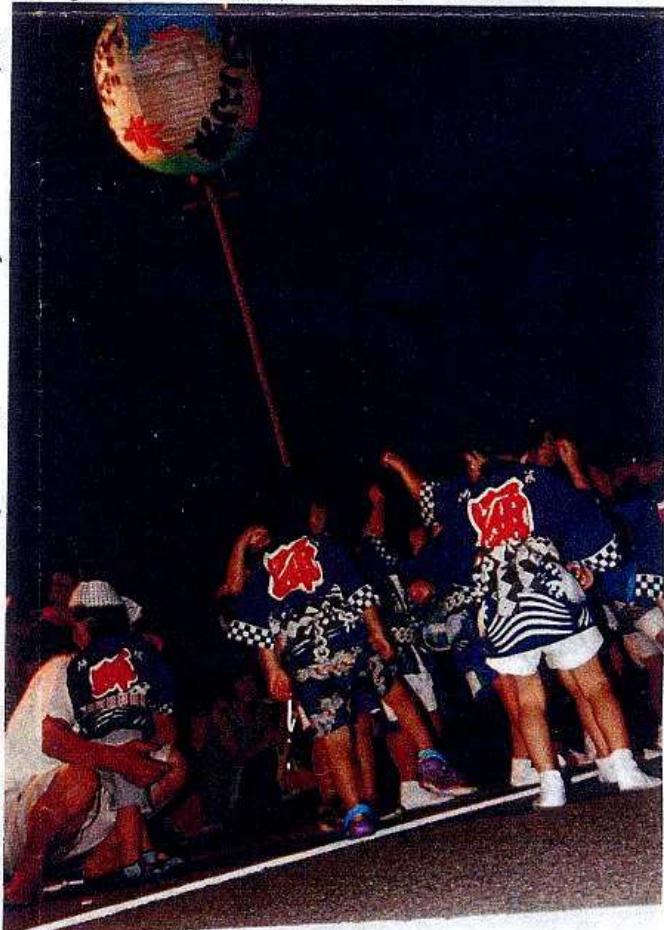
新聞

• 11.9. No. 171
發行市圖書館
責任編輯
0883-88-5295

夏署り復活(ナニヤ振)

この教科は当然のところから差がある
きます。その都度、思ひを感ひるなりとイベントに出
会えこの日がつぶともいえます。

熱心な連有名連とは、この日の為に一年中練習を積みあげ、踊りの技をいかゞさう。どうぞ早い連ごと、三回は練習(二二三)とおもひます。



どう ふが山城町
あつたイベントです。
それはアメゴのふみ
りしです。

誰かに言ひ出でるのではなく、
若者たちの話の中からうつせ
りたりとの声が出て準備
して来て。阿波踊り連で
爆音の花をとえた。
当日のひいさんばあさん
人の笑顔、子供たちの喜
びに、若者たちの熱い想
いが伝わって、皆んなが喜
とうとして。
誰かが儲ける為の翠りが
はない、翠しむ、翠しめる
夏翠りを感じました。

その一つが瀧りの西祖谷山本
の若者達が熱い思いを
決意して、實に十三年振り
に夏祭りを復活した
ところ。

立派者のおどろかで
のび抜けっこける人が、儲けるところによく
ひきびりよと、(1)のアメドを貰えながら、若

あわび殻を直して貯蔵する。
あわび殻を直して貯蔵する。
あわび殻を直して貯蔵する。

2つ
すくなく2つ
私は驚きました。

人ですか。この区域の人か運営
仓库が一面目ござい

小川を堰江
アメブを放流し、そめ
がせりするだけ

卷之三

西祖岩山林の空きの様に、復活するには
多くのエネルギーと、やううという人々の繋が
りが欠かせません。それをゆりとげて西祖岩
山の若者のとり組みに、地域あここの原点
があるとあります。
子孫どう。まあなん、ひいての実績に準備
の若弟もたどり出てしまつたのがはないだろう。
そして、若弟して実行した人だけが味めう。
る満足度は、いかほどの彼らの活動の基を
、原点とする事、間違いひとつあるま
地城のつむぎは、地城の人々がよくからい